



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2020年12月号

教科書改訂で中学の英語の教科書が激変します

先日、北九州にある築山塾さんを訪問しました。

築山塾長は子供たちに楽しく英語を学んでもらえるようにフィリピンに会社を作って現地のスタッフとのオンライン英会話を自塾に取り入れると共に、そのサービスを日本中に展開なさっています。

小学生でも楽しく英検4級までを取得するプログラムを提供なさっていて、勉強している生徒は小学生から高校生までが楽しそくに英語に取り組んでいました。中学生で2級の生徒や高校生は準1級の生徒が普通にいるような教室でした。

来年は中学校の教科書改訂もあり、糸島でも英語熱がかなり上がっていることを保護者様の声から感じています。そのような中、築山塾長には将来のことも踏まえていろいろと教えていただきました。

今回の教育改革の一番の目玉と言われているのが英語に4技能の習得を目指すということです。今までの「読み」「書き」だけのスキルではなく、使える英語の習得ということで「読み」「書き」だけではなく「聞く」「話す」が要求されるように今後なっていくのです。大学入試への民間試験の導入が見送られたことは大きく話題になりましたが、それで改革はとん挫したわけではありません。それどころかその水面下で、英語の民間試験の導入を多くの大学が決定しているのです。

教科書の改訂で驚くべきことはその単語の量です。

昨年小学校で700単語が出て来ることも驚いたのですが、中学ではさらに1800語も出てくるのです。小学校中学校で合わせてなんと2400単語にもなるのです。今迄は中学だけで1200単語だったのになんと2倍になるのです。

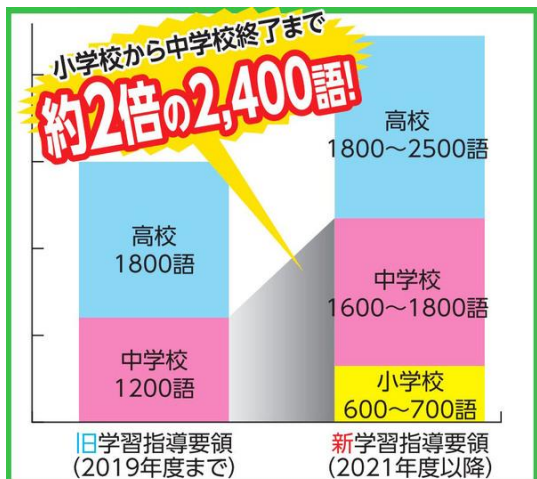
高校受験の際に一番勉強に時間がかかるのが英語です。その英語で一番苦労するのが単語の暗記なのです。高校受験の英語は定期テストのように文法やその範囲の単語を覚えただけでは点が取れません。

英文を読んで理解する力があるので、英語が苦手な生徒はある程度の単語を暗記しないと全く点が取れないのです。その単語量が倍になることを考えるとぞっとします。私のように英語が苦手な暗記を苦にしている生徒には本当に大変な課題を突きつけられたといっても過言ではありません。今でも英語はお手上げ状態の生徒が多い中、さらにお手上げ状態の生徒が増えるのではないかと危惧しています。

築山塾さんではそこをいかに楽しくやるのかというところでマンツーマンの英会話を導入されているのです。今までの英語は学んでも使う機会がないので英語を勉強している実感がなかったのですが、習った文法やフレーズを使って、外人の先生とマンツーマンの会話を楽しむことで、英語を学習するモチベーション

ーシオン向上に繋がります。時間は20分と短いですが、普通の英会話教室と違いマンツーマンというところがポイントのようで、実際に体験してみると20分あればかなり集中して会話が出来ます。

参考になることだらけの見学だったのですが、一番印象に残ったことは「低学年ほど暗記を強要しない」ということでした。暗記を強要した時点で英語嫌いになる生徒が増えてくることでした。実際の中学の教科書は小学校の文法の復習から入るので、小学生では覚えていなくてもわかっていたら十分だと仰っていました。私も速読速聴の授業では「わかる」ことを重視しているので、とても共感出来ました。「わかることは楽しい」のは英語も国語も同じなのです。その気持ちを持続しながら沢山学べば自然と覚えていくのです。何事も楽しく学びたいものですね。



やる気相談室

100点

教材は受験戦争の武器です(教科書準拠教材で100点)

した。

小学4年生の女の子が
月額2000円の動画コ
ースで国語と算数を受講
しています。そこで使っ
ているテキストは単元が終
わると単元テストがあり
ます。その単元テストだけ
塾で受けています。そらば
んの授業の後に「今日はテ

スト受けます。」と笑顔で言いながら受けて
くれるのです。

面談の際にお母様が、最初はベネッセさ
んで勉強し、とても楽しく勉強出来てい
たのですが、学校のテストで満点は取
れていなかったと話されていました。しか
しYESの動画を受け始めたら100点が
取れるようになってきたそうです。

考えられるのは、YESで使っているテ
キストは学校の教科書に準拠しているので
そこが一番の違いなのではないかと思いま

その後、本人に「いつも頑張っているね
学校のテストも100点が増えたみたい
だね」って声を掛けたら、「塾のテストは難
しいから塾のテストで間違えたところをや
り直したら学校では100点が取れるん
です。」と答えてくれました。

そこまで考えて勉強していたらそりゃあ
成績が伸びるわけだと生徒から教わったよ
うな気がしました。

中学生のテスト対策は意識していました
が小学生がここまでテストを意識してい
てくれるとは今後がとても楽しみです。

教材は受験戦争では武器の役目を果たし
ます。その武器をいかに有効に使うのか
とても大事なのですが、その神髄を改めて
考えさせられました。

世の中にはいろいろな教材が溢れていま
す。さらに最近では映像教材もあり選び方
がとても重要になります。

昨年は糸島高校に通っている卒業生が大
学受験直前に物理が全くわからないと塾に

来しました。その時に授業だけじゃとても間
に合わないと思い自学も出来るように「や
さしい高校物理」という参考書を渡したら
「物理がわかるようになってきました」と
言ってくれました。

高校で渡される教材はその高校の目標と
する生徒に対して適正な教材です。糸島高
校なら国公立大学に合格するような生徒に
とって適正な教材を提供しているので、普
通の糸島生には難易度が高すぎる感があり
ます。また、学校の先生が解説することを
前提としているので解説が詳しくないので、
自学には向いていません。自学用には
詳しい解説のついた問題集が適しているの
です。

高校の先生も学校の授業についていけ
ない生徒が予備校の映像教材を見ても意味
がないと言われます。教材選びは武器を選
ぶつもりで慎重に選びたいものです。

教材選びでお困りの際は遠慮なくご連絡
くださいませ。精一杯対応させていただきます。

書籍紹介

国語教育混迷する改革

紅野謙介著

この本は私が尊敬している予備校講師の野田先生がセミナーの際に紹介なさっていた本です。今まで教育
改革で、インプット中心の授業からアウトプットすることや活用することにシフトすることには、個人的に
は今まで賛成の立場だったのですが、この本はその教育に危機感を感じている著者の意見が述べられていま
す。Amazonの書評でも賛否両論といった感じです。私がこの本で共感した部分は活用を重視するあまり
本物の文学に触れる機会が減ってしまうことです。普段から読書をしている生徒ならともかく私のように
学校でしか文学に触れる機会がない学生にとっては確かに文学に触れる機会が減少するでしょう。また、グ
ループワークをする際に、今の学生はその輪の中に入れない生徒がいるのも確かで、それが苦になってさら
に不登校が増える可能性も孕んでいるということでした。この本を読んでみて国語教育の混迷どころか学校
教育の闇を感じました。東大に行くような生徒から予習復習もままならない生徒までを一元的に管理してい
くことの限界を感じてしまいました。本来楽しいはずの勉強が生徒によってはどんどん息苦しくなってい
くのではないかと思います。そうならないようにいかに塾業界が支えていくのか考えさせられる本でした。

